

12月9日 期末・勤勉手当が支給されます！

		教職員 支給額	再任用教職員 支給額
12月期末手当		給料額×1.200	給料額×0.675
12月勤勉手当	特に優秀	給料額×1.075	
	優 秀	給料額×1.005	給料額×0.4775
	良 好	給料額×0.935	給料額×0.4425
	良好でない	給料額×0.885	給料額×0.4175

12月の期末・勤勉手当(ボーナス)支給額=期末手当+勤勉手当

上記支給額とは別に、今年度の賃金確定闘争を受け、3年ぶりのボーナス引上げ分(全区分一律で0.1月分(再任用は0.05月分))が年内に支給されます。

組合員の皆さんの署名や寄せ書き、批准投票の力です。引き続き、賃金・労働条件を改善していくためには、組合員の数を増やしていくことが重要です。ともに頑張りましょう。

勤勉手当の成績率に係る評価結果の開示請求・苦情申出ができます！

評価結果について、十分な説明を求めること(開示請求)や、説明に納得がいけない場合に申し出る(苦情申出)ことができます。これは、私たち学校現場で働く者たちが、人事評価によって不利益を受けないようにするため、恣意的な運用がされないよう検証するために必要な仕組みで、人事評価の公平性・公正性を求める仕組みでもあります。人事評価に関する苦情相談は通年できますが、勤勉手当の成績率に係る評価結果の開示請求・苦情申出には、期間が決められています。

①決められた期間内に開示請求をして、説明を受けます。

12月9日支給の勤勉手当の成績率に係る評価結果の開示期間

12月9日(金)から12月16日(金)まで

※学校長に対して評価結果の開示を請求します。



②それでも納得がいけない場合には、苦情申出をすることができます。

12月9日支給の勤勉手当の成績率に係る評価結果に対する苦情申出期間

12月9日(金)から12月28日(水)まで

※学校長を通して教育委員会に対して苦情申出をします。第3者に立会人を依頼することができます。

昇給区分の決定に関する苦情申出期間

2023年1月4日(水)(昇給通知書の交付の日)から1月31日(火)まで

※学校長を通して教育委員会に対して苦情申出をします。第3者に立会人を依頼することができます。

湘南教組は、神教組を通して、県教委が人事評価結果における検証・改善をはかるよう求めるとともに、市町教育委員会に評価者への制度理解及び検証、評価者研修の充実も求めてきました。今後も、人材育成の趣旨の徹底をはかりながら、制度検証の継続や評価者の理解を、神教組とともに県当局にはたらきかけていきます。

寒川町教委との全体交渉

10月24日、寒川町教育委員会と「2023年度教育施策・予算要求全体交渉」を行いました。

湘南教組執行部からは、①労働安全衛生体制の確立、②学校給食センター整備、③消耗品費、備品等教育予算の増額、④今後すすめられる教育施策についての4点と専門部から1点ずつ要求しました。

町教委からは「教職員が心身ともに充実して子どもたちと向き合い、誇りややりがいをもって職務に従事できるよう、教職員の在校時間の実態把握をもとに、具体的な働き方改革への実効、業務改善に向けての具体的な措置を講じていく。給食センター整備事業においては、現場の意見を十分に反映させていく場を設けるとともに、持続的な体制づくりに努めていく。また、予算の執行に関しては、現場の意見に声を傾けながらその執行に努めていく、そのためにも引き続き湘南教職員組合との事前協議及び協力体制を維持していく。」という回答がありました。



教員免許更新講習等の補助金の申請について

6月30日をもって教員免許更新制が廃止されたことを受け、2023年3月31日で有効期限が満了になる方は教員免許更新講習を受けなくてよいことになりました。その措置を受け、神奈川県教育福祉振興会から給付される教員免許更新費用等補助（10,000円）については、「講習をすべて終了したものとみなす。」ことで補助金の給付が受けられます。

教員免許の有効期限が2023年3月31日になっている方は、今年度、教員免許講習を受けていなくても補助金が給付されるので、神奈川県教育福祉振興会 HP より請求書をダウンロードし、各校担当者を通して補助金の請求をしてください。

現職会員	ID『genshoku』	パスワード『kaiinn』
------	--------------	---------------

「くみあい豆知識②」 ～署名・寄せ書きって、どうするの？～

例えば賃金交渉に向けた署名。

私たちの給料は、毎年、県の議会が決めています。ここで議会が参考にするのが、「人事委員会（民間と公務員の給料を比べて、県議会に案を示すところ）の勧告」です。今年度は人事委員会が県に対して「給料アップ、ボーナスアップ」の勧告をしました。

ただ、県の財政もカツカツ……。勧告が出ても、財政難を理由に賃金アップできない、ということも。そんなことを防ぐ力になるのが、私たちがとりくんでいる「署名」「寄せ書き」「決意表明」なんです。県の担当者の前に署名を積み上げ、寄せ書きを見てもらい、私たちの想いを直接届けています。多ければ多いほど伝わる、というのは、そういうことなんです。

11/19(土) 寒川町民センターにて

第51回湘南地区「母と女性教職員の会」

ペシャワール会の理事、藤田千代子さんを講師に、「アフガニスタンに命の水を〜ペシャワール会の現地活動報告（医療活動や農業、井戸・用水路建設）」という内容の講演を行いました。故中村哲医師は、1984年に、パキスタンのペシャワール・ミッション病院ハンセン病棟に赴任し、医療設備が不十分な中、診療活動に従事しました。その後、アフガニスタンからの難民を診療し、医者のいない村に診療所を開設する等、両国に跨り医療活動をされました。病気の背景には、慢性の食糧不足と栄養失調があり、砂漠化した農地の回復が必須であると考えられ、2000年以降は、1600か所以上の井戸を掘ったり、灌漑用水路を建設したりと、命を守る水を確保し、生活を守る農地を復活させました。そして、傭兵にならざるを得なかった人々が武器を捨て、農民として戻ってくるができる平和と共生への道を中村医師は求め続けてこられました。2019年12月4日中村医師は武装集団に銃撃され、73歳で非業の死を遂げました。亡くなってから3年が経ちますが、一方的に善意を押し付けるのではなく、現地の人々とやりとりをしながら最善の方法を探る支援・活動は、中村医師の夢とともに引き継がれています。



中村医師が遺された言葉、「三度の飯が食えて、家族と一緒に暮らすことができれば良い。」という日本では当たり前な生活が当たり前でない人々が世界にはたくさんいること、「ただの違いでしかないことに、日本で育った自分の物差しで優劣をつけない。」という現地の文化や習慣を尊重する姿勢が他者理解や共生の際には重要なこと等、自分の考えや振る舞いを振り返る機会となり



ました。中村医師が好きだった言葉「一隅を照らす」には、「自分が今いる場所で、自分にできることを一生懸命やりましょう」という、メッセージが込められています。今回の講演を受け、子どもたちの未来が平和で安心して過ごせる社会になるよう、参加者の皆さんと考える機会になったのなら幸いです。

- 人、物が足りないと日々感じていましたが、少し恥ずかしくなりました。そんな恵まれた日本に住む子どもたちが恵まれていると感じるには、どういう学校であるべきか考えさせられました。
- 新聞等で中村哲さんの功績は見聞きしたことがありましたので、直近のスタッフの方の話を拝聴できて大変嬉しかったです。現地にいる方のNATO軍やタリバン政権への感じ方を知り、色々と考えさせられました。また、他者の思想や文化、価値観の違いを理解し受け入れることの大切さを改めて感じました。
- 「目の前の困っている人に寄り添う」「持続可能な支援を共に考える」そうして植えた種が来年も再来年も芽吹くことを願って、助けられた人が他の困った人に寄り添えるようになることを願って、私は自分の足元を見つめて行こうと思いました。報道ではわからない現地の実情ももっと知れ渡ってほしいです。

第72次全国教研

2023年1月に開催予定の第72次全国教研に湘南地区から3本のレポートが選出されました。選出レポートは次の通りです。

分科会	分会名	発表者	主題
外国語教育・活動	鎌倉第一小	先崎 いずみ	外国語教育のススメ！
カリキュラムづくりと評価	香川小	廣瀬 城太	通知表のない教育評価への挑戦
地域における教育改革とPTA	玉縄中	深沢 未来	教員が教員を育てる

たけむら雅夫と語る会「クッキー&トーク」

11月25日に、ミナパークにて「たけむら雅夫と語る会クッキー&トーク」が行われました。

藤沢市善行にある「さんわーくかぐや」という福祉作業施設があります。そこでは、日々障がいのある人もない人も一緒に、農作業と創作活動をしなが、家族のように過ごしています。その施設取材して作られたドキュメンタリー映画「かぐやびより」を鑑賞しました。

朝は8時半、メンバーが通ってくるところから、15時の活動終わりまでの計120日間の取材でできた映画でした。四季折々に開かれる魅力ある行事や、日常の中で変化するメンバーの心の変化や成長などが見ることができました。藤田副理事長が「いろんなことができるのに、決まったことを行う作業所で働くだけでいいのか。福祉の形が少しでも変えていけたら」という言葉が印象に残りました。



藤沢「保護者と教職員との交流会」

毎年、藤沢の子どもたちのためにつながる会との共催で「保護者と教職員との交流会」を行っています。

今年度は、防災をテーマに「地震が起きた！！その時、子どもは？～子どもに伝えるための大人の学び～」と題して、慶應義塾大学の大本聖子さんを講師に、講演会を行いました。

講演の中では、マグニチュード7（阪神淡路大震災レベル）の地震はどこでも起きる可能性があること、地震は対策のできる災害であること、ヘルメットの有用性、避難訓練の見直し、職員研修の必要性など、動画も交えてのお話がありました。

その後、8グループに分かれて、講演をもとにグループトークを行いました。保護者と教職員が、子どもが一人で過ごしているときのために、どのような行動を身につけさせればいいのか、防災頭巾からヘルメットへ変更した方がいいのかなど、子どもの安全のために熱心な話し合いを行う様子が見られました。

防災教育について改めて考える良い機会となり、学びや実りのあるものになったのではないかと思います。

大本さんは、藤沢市の学校で、講演、授業、職員研修を行っています。みなさんの学校でも、お呼びしてみてくださいはいかがでしょうか。



2022 年度神奈川県教職員スポーツ交流会（球技の部）

新型コロナ感染拡大の影響をうけ、3年ぶりの開催となりました。今年は11月12日～27日まで、県内各地で行われました。県内5地区（三浦、湘南、湘北、中、西湘）の教職員が集い、久しぶりに思い切り汗をかきスポーツを通して交流を深めました。

様々な事情により全地区が参加できたわけではありませんが、地域や地区を越えて親睦を深めることができました。

卓球(11/12)



バスケットボール(11/20)



バレーボール(11/27)



サッカー(11/20)



第20回囲碁将棋大会

11月23日、第20回囲碁将棋大会が行われ、湘南教組も参加しました。
<将棋の部> 湘南教組 準優勝

執行部のつぶやき・・・

ついに順番がまわってきた。執行部2年目メンバーによるつぶやきコーナーの執筆だ。

このコーナーでは多くの課題に関する自分の思いを自由に表現するのだが、先輩方から「日頃から少しずつでもいいから書く内容についてメモをとるなど、今から少しずつでも書き始めていくとあとあと楽だよ。」とアドバイスを受けていた。自分も昨年、「そうだな。今から少しずつでも書き始めよう。」と思っていたが、ほとんどなにもできずに今に至ることになってしまった。自分は「さぼっていたのか？」とってしまうほど“準備ができていないこの状況”にあらためて驚いている。「いや、けっしてさぼっていたわけではないのだ。」日頃から優先順位を考え、仕事をすすめてきたが、この“つぶやきの執筆”はやっぱり自分の仕事を行う中でいわゆるキャパオーバーの内容だったということに気づかされた。そういう種類の仕事を我々はたくさん抱えているようにも思う。

このような視点で学校業務をみてみるとどうだろうか。学校業務はどれをとっても、ひとつひとつの仕事には意味があり、大事なものであるが、全体として見たときにその位置づけはどうか。今一度、考え直し、整理していくことがとても大切である。とくに、GIGA スクール構想が導入されている現在は、我々のおかれている環境はますます忙しくなっている。だからこそ、今までの当たり前について今一度考え直し、その存在価値についても基本に立ち戻りながら、大事なものはわかるが、社会の要請とマッチしているのかについても考えていくことが必要である。もちろん、子どもたちを中心に考えながらも教育業界で働く我々にとっても居心地の良いものとする事ができるのかが問われているように思う今日この頃である。



湘南教組 当面の活動予定

日程	予定	開始時刻	場所	対象
12月 3日(土)	「登校拒否」を考える会	14:00	茅ヶ崎市立梅田小学校	希望者
12月 8日(木)	定年延長学習会	18:00	Web	法制委員 +希望者
12月12日(月)～	冬オルグスタート!!		各分会	全分会員
12月17日(土)	教科書について考える市民の集い	13:30	ミナパーク藤沢 +Web	分会1名 +希望者
1月11日(水)	湘南教組役員選挙 選挙管理委員会	16:30	湘南教育会館	選挙管理 委員
1月21日(土)	神奈川県教育フェスティバル	詳細は追って連絡します		
1月22日(日)				

湘南教組の情報をより早くうけとりたい方は、こちらからメルマガのご登録をお願いします。コロナ禍の服務に関わること、学習会の開催情報、その他にも組合員のためになる情報を定期的に発信しています！

